

2025年3月期 上半期 決算説明資料

(2024年4月1日～2024年9月30日)

2024年11月12日

ジーエルテクノホールディングス株式会社

東証STD (255A)

目次

- はじめに P. 3
- エグゼクティブサマリー P. 5
- 決算概要（2025年3月期 上半期）
 - ・ 全社 P. 8
 - ・ セグメント別 P. 10
 - ・ 通期業績予想に対する進捗率 P. 19
- 業績予想（2025年3月期） P. 20
- トピックス P. 23
- 参考資料 P. 27

はじめに

- 当社（ジーエルテクノホールディングス株式会社）は
ジーエルサイエンス及びテクノクオーツの共同持株会社として
2024年10月1日付で設立されました。
そのため、本資料に記載の上半期（4月～9月）の売上高や
利益等の実績は、経営統合前のものとなります。
- 以下の資料も開示しておりますので、併せてご覧ください。
 - 中期経営計画
【トピックス①】（詳しくは[こちら](#)）
 - 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
【トピックス②】（詳しくは[こちら](#)）
 - 自己株式消却について
【トピックス③】（詳しくは[こちら](#)）
- コーポレートメッセージを制定しました。
（詳しくは[こちら](#)）
「経営理念・企業行動方針」

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

事業概要

持株会社

ージーエルテクノホールディングス株式会社ー

分析機器事業

ージーエルサイエンス株式会社ー

クロマトグラフィーの技術であらゆる分析を支える

【コア事業】

半導体事業

ーテクノクォーツ株式会社ー

最先端の加工技術で世界の半導体製造を支える

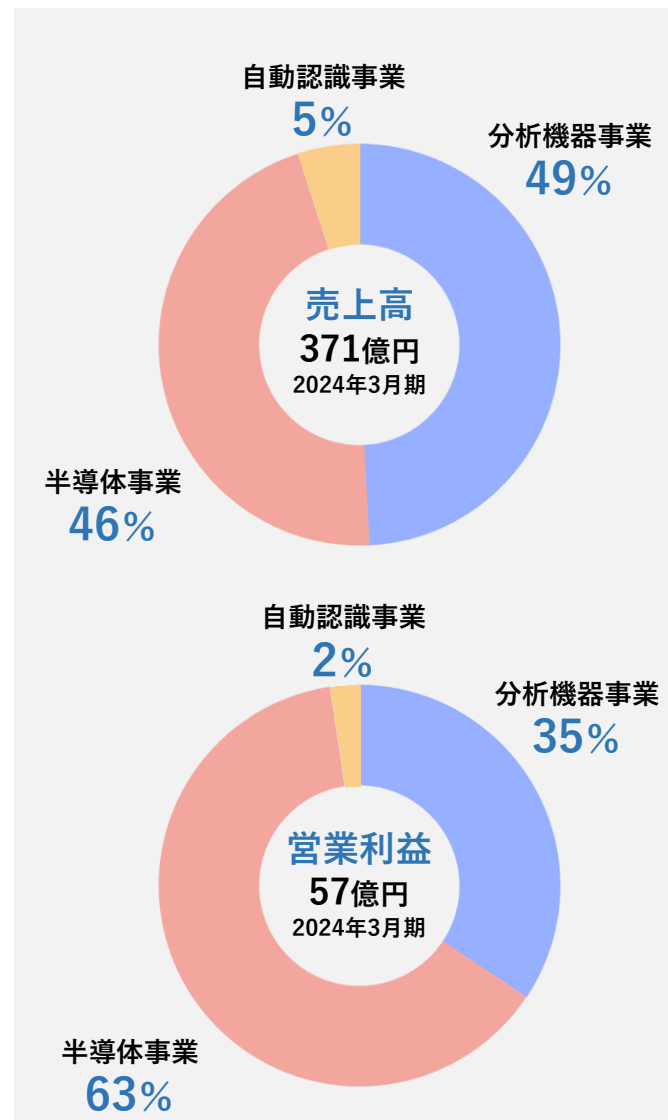
【成長事業・コア事業】

自動認識事業

ージーエルソリューションズ株式会社ー

非接触IC技術でより快適な社会を実現する

【新規事業】



エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

・ 2025年3月期上半期は**増収・増益**

- 売上高： 19,796百万円（前年同期比**+15.5%**）
- 営業利益： 2,895百万円（前年同期比**+14.1%**）

特に**半導体事業**において大幅な伸び率
（売上高、利益ともに**+20%超**）

（通期予想） ※10月1日発表の通期予想に変更はありません

・ 2025年3月期通期も**増収・増益**の見込み

- 売上高： 41,320百万円（前期比**+11.2%**）
- 営業利益： 6,140百万円（前期比 **+7.5%**）
- 配当予想： 101円

売上高進捗率は47.9%であるが、下半期に伸びる傾向にあり、上半期で既に前年下半期に近い水準に達している

業績ハイライト

1

【全社】増収・増益

売上高：	19,796百万円	+15.5%	+2,661百万円	(前期 17,135百万円)
営業利益：	2,895百万円	+14.1%	+358百万円	(前期 2,536百万円)

2

【分析機器事業】増収・減益

売上高：	8,926百万円	+10.7%	+862百万円	(前期 8,064百万円)
営業利益：	728百万円	△6.6%	△51百万円	(前期 779百万円)

(要因) 【増収】多分野での消耗品・装置類の売上好調、海外売上も増収
 【減益】ベースアップや経営統合等による販管費の増加

3

【半導体事業】増収・増益

売上高：	9,974百万円	+21.8%	+1,784百万円	(前期 8,189百万円)
営業利益：	2,107百万円	+23.3%	+398百万円	(前期 1,709百万円)

(要因) 生成AI分野での需要拡大による工場新設・増設、積極的な設備投資を背景に増進
 豊富な受注残と工場の高稼働で計画を大幅に上回る

4

【自動認識事業】増収・増益

売上高：	895百万円	+1.6%	+14百万円	(前期 881百万円)
営業利益：	58百万円	+21.0%	+10百万円	(前期 48百万円)

(要因) 【増収】セキュリティ向上への関心の高まりからモジュール組込み導入が堅調
 公共分野での高セキュリティ化の需要も後押し

決算概要 (2025年3月期 上半期) (全社)

決算概要（全社）

増収・増益

【売上高】 分析機器事業と半導体事業が牽引して増収

【営業利益】 半導体事業と自動認識事業において大幅な伸び率

【経常利益】 為替差損の影響により5%ほどの伸びに留まる

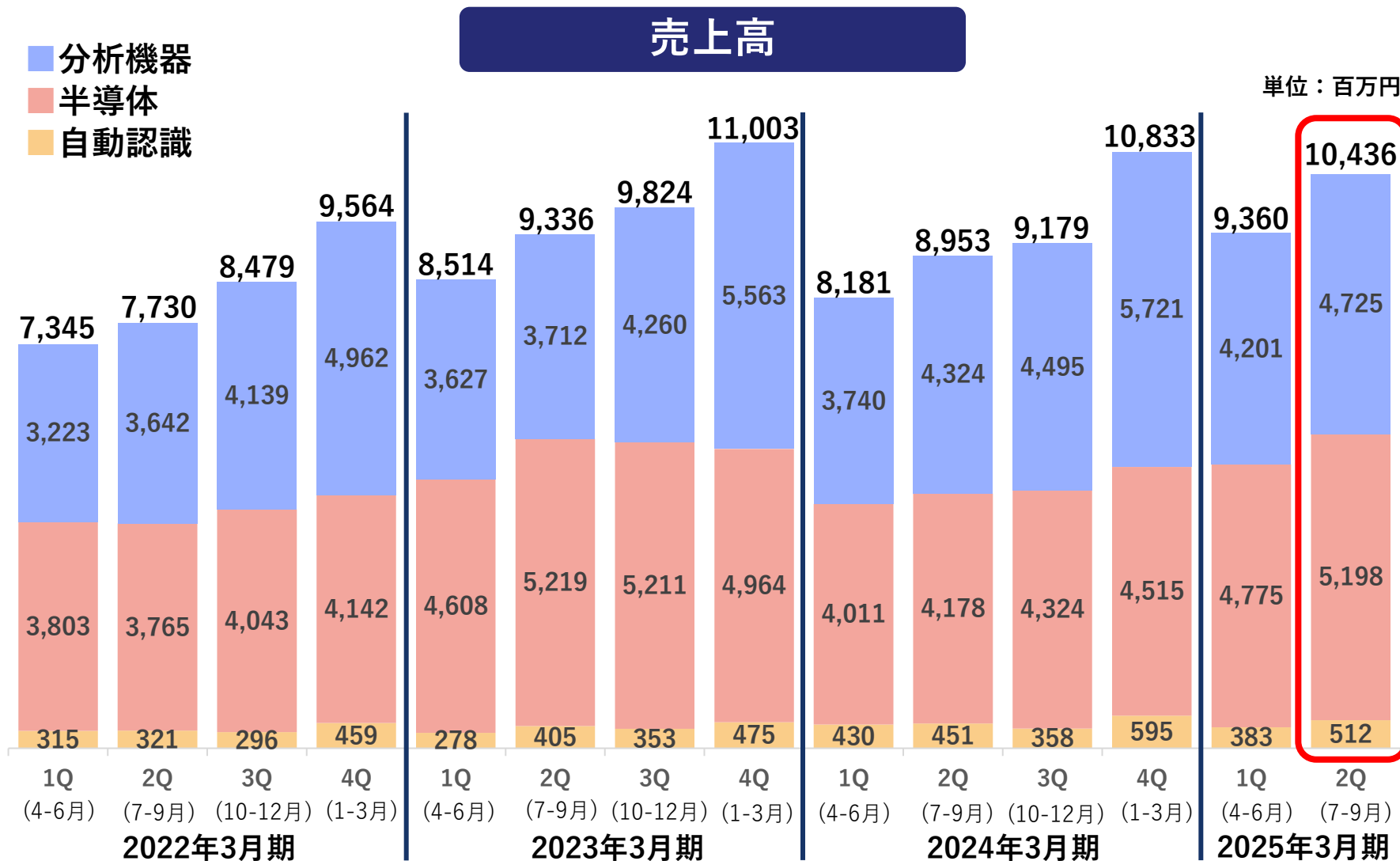
【純利益】 前期は半導体事業で特別利益（国庫補助金受贈益）1.53億円を計上
⇒これを差し引くと実質的に純利益増加

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	増減率	増減額
売上高	17,135	19,796	+15.5%	+2,661
営業利益	2,536	2,895	+14.1%	+358
営業利益率	14.8%	14.6%	—	△0.2 pt
経常利益	2,726	2,871	+5.3%	+144
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,496	1,411	△5.6%	△84

決算概要（2025年3月期 上半期） （セグメント別）

売上高四半期別推移 (セグメント内訳)

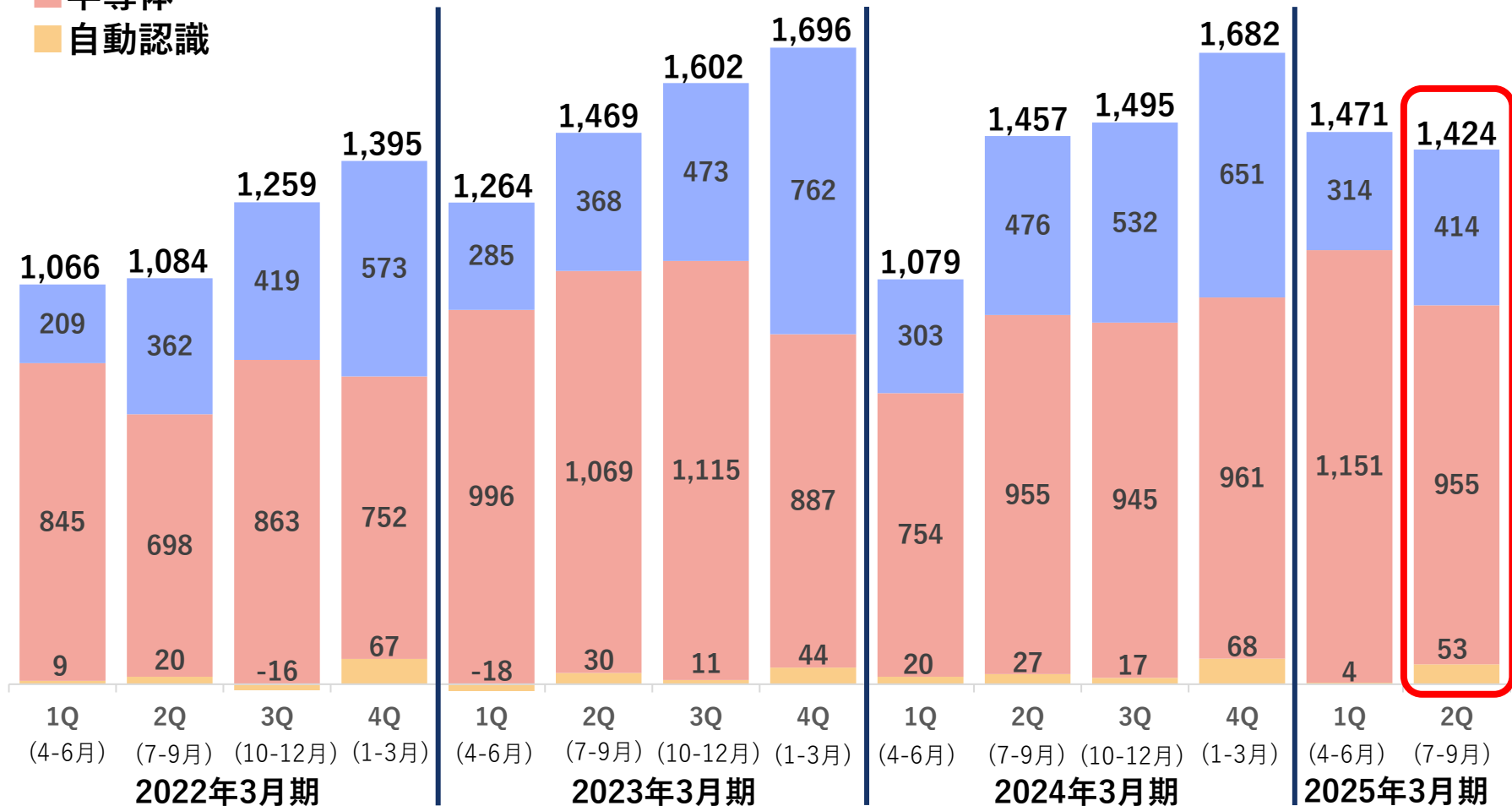


営業利益四半期別推移 (セグメント内訳)

営業利益

- 分析機器
- 半導体
- 自動認識

単位：百万円



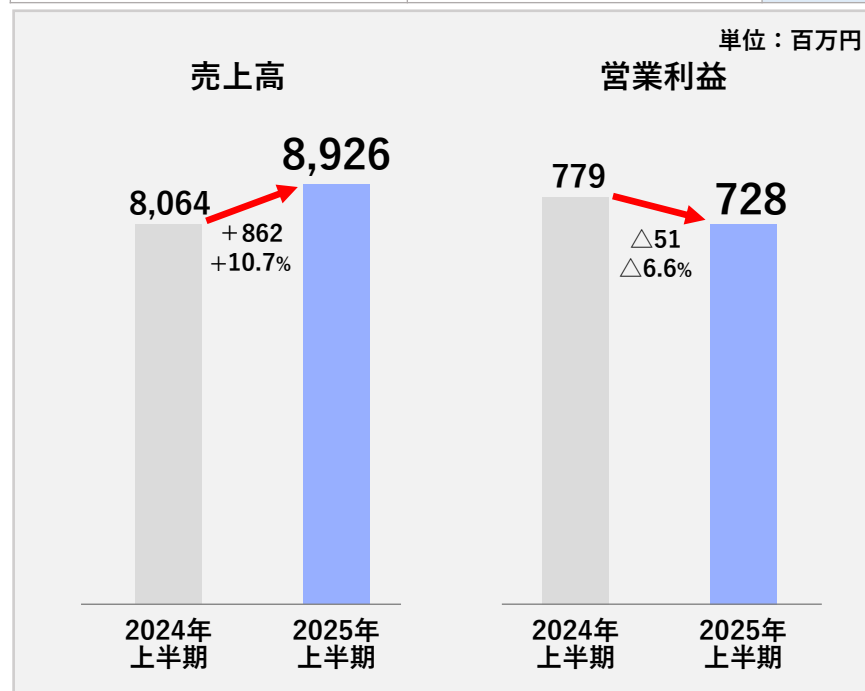
決算概要 (セグメント別) : 分析機器事業

増収・減益

【増収】 多分野での消耗品・装置類の売上好調、海外売上も増収

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	増減率	増減額
売上高	8,064	8,926	+10.7%	+862
営業利益	779	728	△6.6%	△51
営業利益率	9.7%	8.2%	—	△1.5 pt



要因・その他

< 国内売上高 >

【多分野で増収】

- ・ 消耗品：環境分析や製薬、化学工業など
特に**LC用カラム**、**前処理関連製品**が好調
- ・ 装置類：LC関連装置や水質分析用装置などが牽引

< 海外売上高 >

【好調】

- ・ **LC用カラム**が引き続き大きな比率を占める
- ・ 特に**アジア**、**欧州**、**中南米**が好調
- ・ 海外全体の売上高としても前年同期比で増収

※ ベースアップ等による人件費の増加及び
経営統合に伴う費用等により減益

分析機器事業：地域別売上高内訳

国内が8割弱、海外が2割強（主にアジア） いずれも堅調

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	前年同期比		2025年3月期 上半期構成比
			増減率	増減額	
国内	6,030	6,736	+11.7%	+706	75.5%
海外	2,034	2,189	+7.6%	+155	24.5%
北米	280	288	+2.7%	+7	3.2%
アジア	1,282	1,400	+9.2%	+117	15.7%
その他	471	501	+6.4%	+30	5.6%
合計 (国内+海外)	8,064	8,926	+10.7%	+862	100.0%

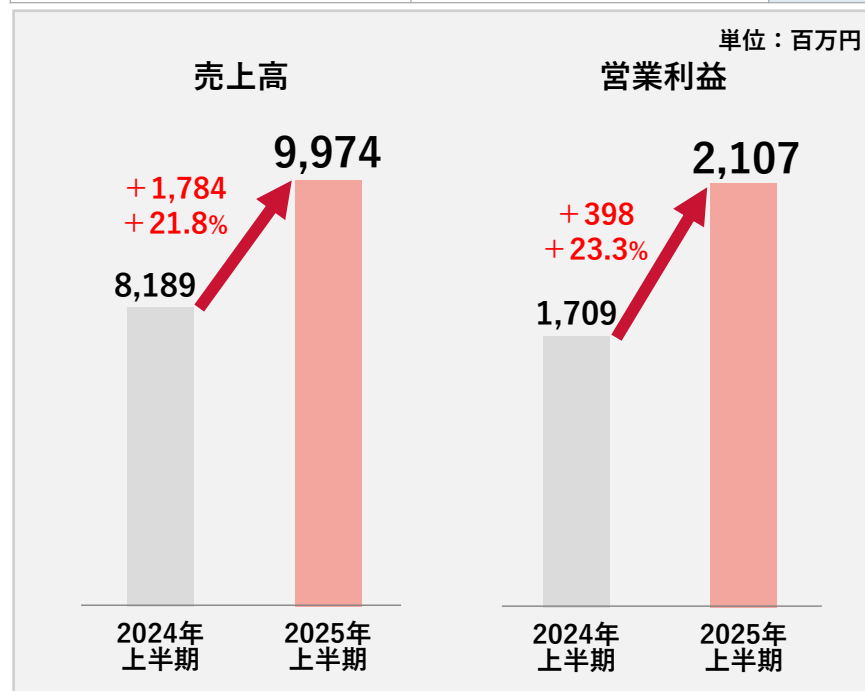
決算概要 (セグメント別) : 半導体事業

大幅な増収・増益

生成AI分野での需要拡大による工場新設・増設、積極的な設備投資を背景に増進

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	増減率	増減額
売上高	8,189	9,974	+21.8%	+1,784
営業利益	1,709	2,107	+23.3%	+398
営業利益率	20.9%	21.1%	—	+0.2 pt



要因・その他

【需要拡大】

- PC/スマートフォン向け需要の落ち込みは続く半面、**生成AI市場**の需要拡大を背景に工場新設・増設など、今後を見据えた積極的な設備投資が活発化
⇒ さらなる成長拡大が見込まれる

【需要拡大への対応】

- 高付加価値製品の開発と拡張によるマーケットの拡大
- 国内の増産体制構築のための準備

【付加的要因】

- 棚卸資産評価方法の変更に伴う増益（主に第1四半期）

半導体事業：地域別売上高内訳

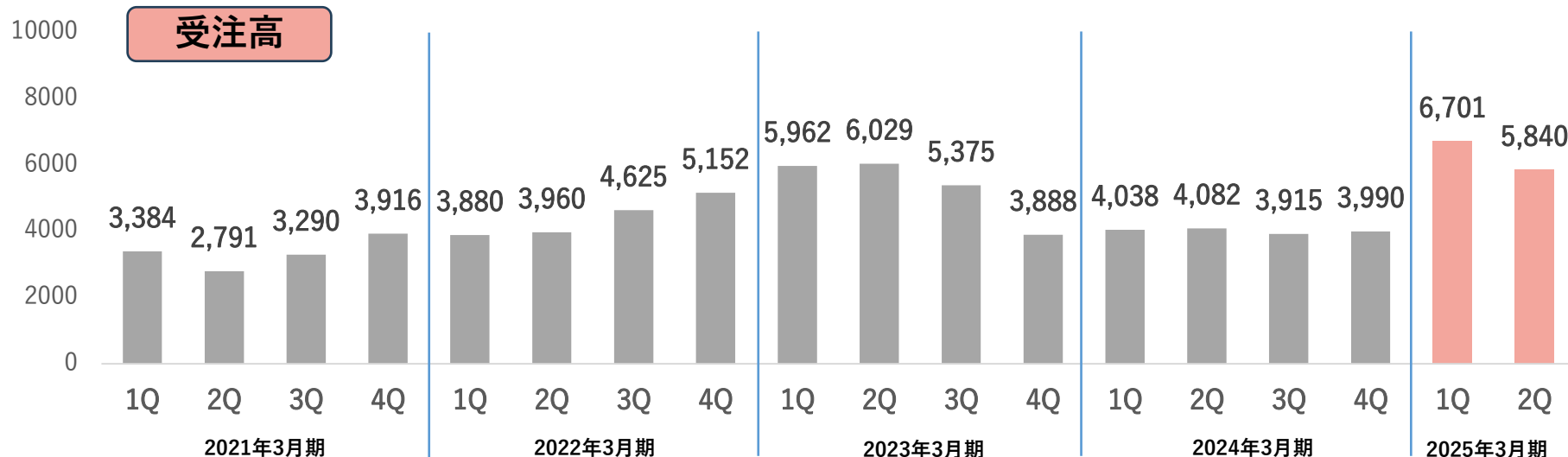
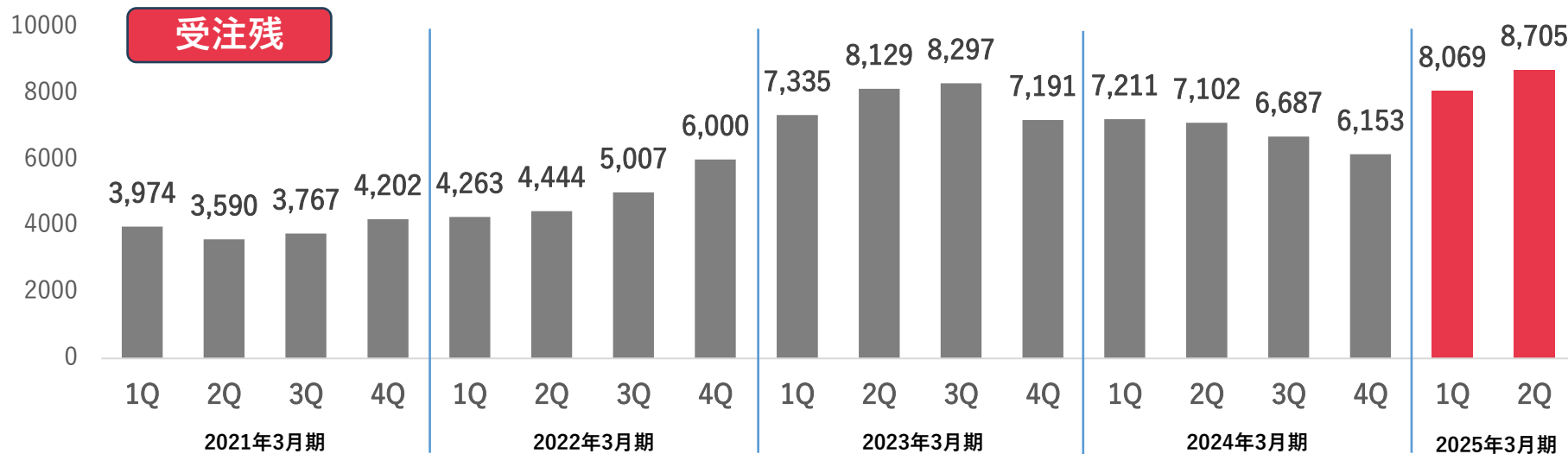
海外売上高が**6割弱**にまで大幅増進、特にアジアの伸びが顕著

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	前年同期比		2025年3月期 上半期構成比
			増減率	増減額	
国内	4,016	4,198	+4.5%	+181	42.1%
海外	4,172	5,775	+38.4%	+1,603	57.9%
北米	320	419	+30.7%	+98	4.2%
アジア	3,846	5,345	+39.0%	+1,499	53.6%
その他	5	10	+95.0%	+5	0.1%
合計 (国内+海外)	8,189	9,974	+21.8%	+1,784	100.0%

半導体事業：受注残・受注高四半期推移

単位：百万円



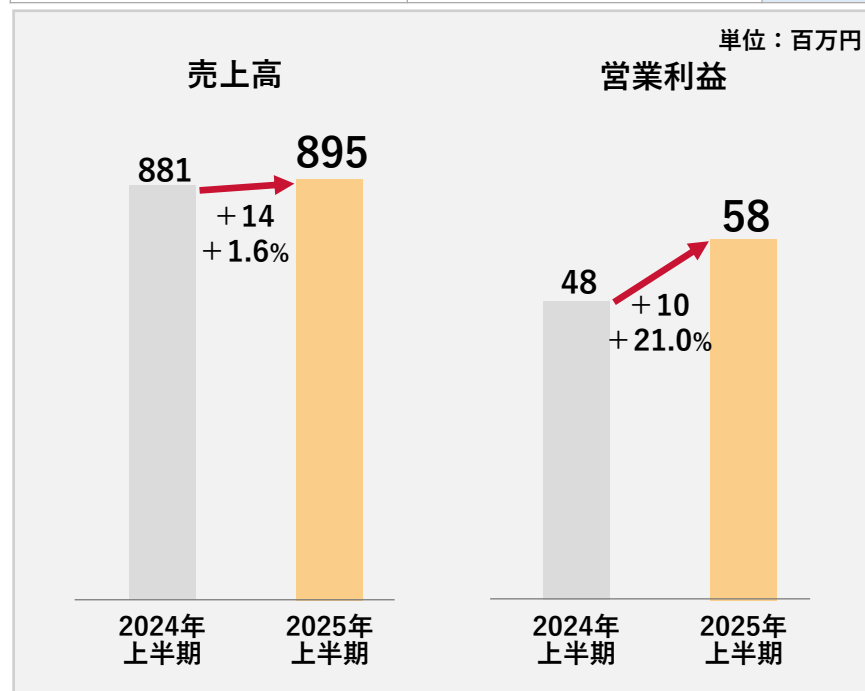
決算概要 (セグメント別) : 自動認識事業

増収・増益

モジュール組込み導入が堅調、公共分野も需要拡大

単位：百万円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	増減率	増減額
売上高	881	895	+1.6%	+14
営業利益	48	58	+21.0%	+10
営業利益率	5.5%	6.5%	—	+1.0 pt



要因・その他

【増収】

- ・ **セキュリティ向上への関心**の高まりからモジュール組込み導入が堅調
- ・ **公共分野**での高セキュリティ化の需要も後押し
- ・ 「完成系」、「自動認識用その他」は住宅関連設備の遅延などの影響により減少

【増益】

- ・ **受託開発案件**の納品も複数件計上

通期業績予想に対する進捗率

進捗率は概ね順調

単位：百万円

		2025年3月期 上半期実績※1	2025年3月期 通期予想※2	進捗率
売上高	分析機器事業	8,926	19,200	46.5%
	半導体事業	9,974	20,160	49.5%
	自動認識事業	895	1,960	45.7%
	売上高合計	19,796	41,320	47.9%
営業利益		2,895	6,140	47.2%
経常利益		2,871	6,260	45.9%
親会社株主に帰属する 当期（または四半期）純利益		1,411	※3 4,370	—

※1：経営統合前のジーエルサイエンス株式会社としての実績

※2：10月1日発表の業績予想より

※3：経営統合後の数値であるため、経営統合に伴う少数株主持分の加算を含みます

業績予想（2025年3月期）

業績予想（2025年3月期）：全社

増収・増益の見込み

単位：百万円

	2024年3月期 通期実績※1	2025年3月期 通期予想※2	[参考値] 増減率 (前期比)	[参考値] 増減額 (前期比)
売上高	37,148	41,320	+11.2%	+4,171
営業利益	5,714	6,140	+7.5%	+425
営業利益率	15.4%	14.9%	—	△0.5 pt
経常利益	6,108	6,260	+2.5%	+151
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,430	※3 4,370	—	—
年間配当(円)	70	※4 101	—	—

※1：経営統合前のジーエルサイエンス株式会社としての実績

※2：10月1日発表の業績予想より

※3：経営統合後の数値であるため、経営統合に伴う少数株主持分の加算を含みます

※4：11月12日発表の「配当予想の修正に関するお知らせ」より

業績予想（2025年3月期）：セグメント別

単位：百万円

		2024年3月期 通期実績※1	2025年3月期 通期予想※2	[参考値] 増減率 (前期比)	[参考値] 増減額 (前期比)
分析機器事業	売上高	18,281	19,200	+5.0%	+918
	営業利益	1,962	1,950	△0.6%	△12
	営業利益率	10.7%	10.2%	—	△0.5 pt
半導体事業	売上高	17,029	20,160	+18.4%	+3,130
	営業利益	3,615	4,070	+12.6%	+454
	営業利益率	21.2%	20.2%	—	△1.0 pt
自動認識事業	売上高	1,836	1,960	+6.7%	+123
	営業利益	134	120	△10.8%	△14
	営業利益率	7.3%	6.1%	—	△1.2 pt

※1：経営統合前のジーエルサイエンス株式会社としての実績

※2：10月1日発表の業績予想より

トピックス



中期経営計画の発表

(10月1日開示)

基本方針

- 01 持続的な成長への戦略投資
- 02 事業競争力を重視した成長戦略

経営目標

持続的成長へ

2025.3 – 2027.3
新中期経営計画
2027年3月期計画

売上高	500億円
営業利益	77億円
営業利益率	15.5%
ROE	13.0%以上

2022.3 – 2024.3
2024年3月期実績

売上高	371億円
営業利益	57億円
営業利益率	15.4%
ROE	10.8%

2019.3 – 2021.3
2021年3月期実績

売上高	292億円
営業利益	38億円
営業利益率	13.2%
ROE	10.0%

資本コストに関する開示

(9月26日開示)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を開示

【評価】

- ROE：10%以上の水準を確保
- PBR：2021年3月期を除き1倍を下回る ⇒ 市場評価は低いと判断

【方針・目標・具体的施策】

- ① 更なる売上高の拡大及び利益率向上に向けた事業戦略
 - ・ 2027年3月期の**連結売上高目標：50,000**百万円
 - ・ 2027年3月期の**連結ROE 目標：13.0%**
- ② バランスシートの最適資本構成を実現する資本政策（株主還元等）
 - ・ 2025年3月期の**連結配当性向目標：30%**
- ③ IR 活動の強化（事業・財務戦略の周知、市場との対話等）
 - ・ **事業・財務戦略の周知、市場との対話及び経営へのフィードバック体制の強化**
 - ・ **個人投資家向けIR 説明会の実施**

自己株式消却に関する方針決定

(10月31日開示)

■ 当社自己株式のうち4,698,200 株を2024年11月15日に消却予定

これにより、発行済株式総数は18,379,430株から**13,681,230株**になります。

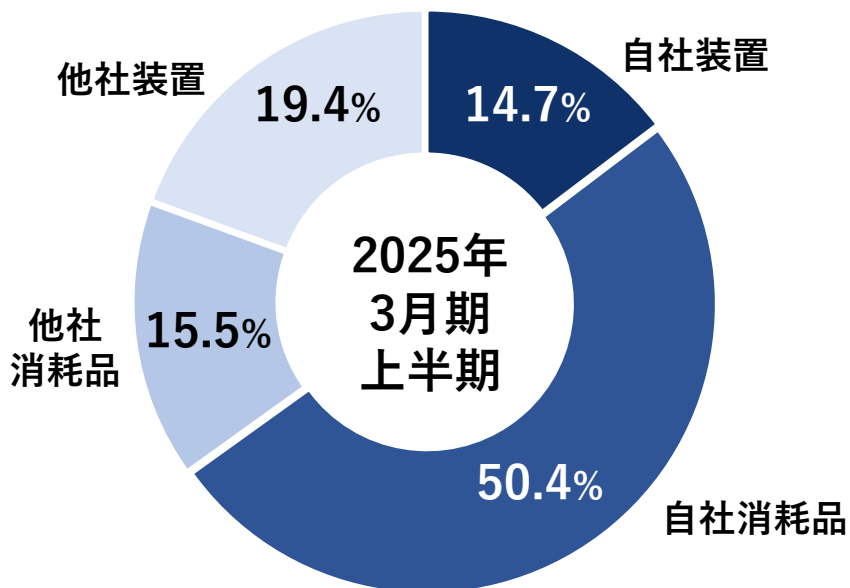
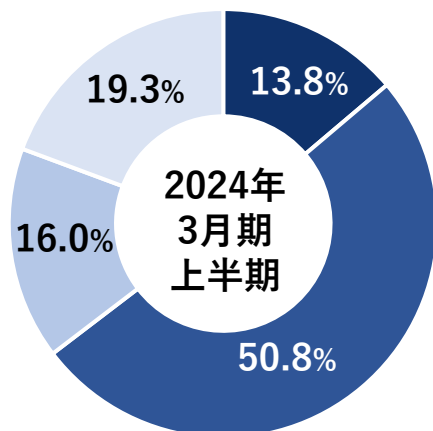
【経緯】

- ジーエルサイエンスは9月末時点でテクノクオーツ株式2,542,000 株を保有しており、これに対して10月1日にジーエルテクノホールディングス株5,338,200 株が割当交付
- ジーエルサイエンスはこの当社株式を親会社である当社に現物配当することを決議（取得日：11月8日）
- 株主価値向上のため、当該株式5,338,200 株のうち4,698,200 株を消却（発行済株式総数の25.6%）

参考資料

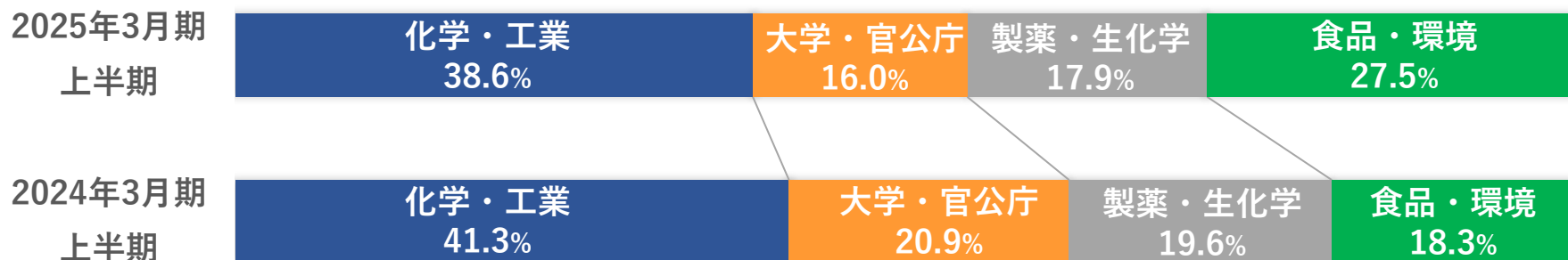
ジーエルサイエンス単体での売上高構成推移

売上高構成比



販売先別売上高構成（国内）

化学・工業分野が最も多く、約**4割**を占め、この上半期は食品・環境の比率が増加



日本国内では**分析に関する技術的知識も有する営業部隊**が、顧客のニーズに合わせた**アプリケーション提案**からの装置販売と、導入後も必要になる**消耗品販売**を中心に展開

	売るもの	製品知識	販売後	利益率
一般的な装置メーカー	<ul style="list-style-type: none"> 自社製品のみ 	<ul style="list-style-type: none"> 自社製装置に限り◎ 	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスと更新の対応が中心 	◎
一般的な販売店	<ul style="list-style-type: none"> 契約しているメーカーの製品を幅広く 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な製品を取り扱う反面、専門領域に関してはメーカーのサポートを要する場合もある 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品も随時案内 技術相談の対応可能範囲は限定的 	△
当社分析機器事業 [ジーエルサイエンス]	<ul style="list-style-type: none"> 自社+他社製品 	<ul style="list-style-type: none"> 自社製品の知識を応用することで他社製品も◎ 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品も随時案内 技術相談に対応するだけでなくアプリケーション（応用データ）も提案 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 自社製品販売により、純粋な販売店よりも利益率は良い

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルテクノホールディングス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

ジーエルテクノホールディングス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1

TEL : 03-4212-6677

URL : <https://www.gltechno.co.jp>